

## ワンポイントメモ

### 様々な教授法

#### A. 文法翻訳法

- ・ 文字言語重視
- ・ 学習の目的は目標言語で書かれた文学作品が読めるようになること
- ・ 文法規則や単語の意味を暗記して母語と目標言語の翻訳が自由にできるようになることを目指す。
- ・ 外国語を理解することは母語に対する理解を深め知的形成にも役立つと考える。

#### B. 直接法

- ・ 使われる場面や状況、実物などを示すことによって、文や語の意味を直接目標言語の形式と結びつけて理解させる。
- ・ 教師のあとについて発音練習させることが多い。
- ・ 媒介言語を使わないことが多い。

#### C. オーディオリンガル法

- ・ 言語は本来音声であり、構造体であるから言語の学習は言語の構造あるいは型を学習することが大切である。
- ・ 習慣形成のためにくりかえし練習を行うことが大切であると考えられており、パターンプラクティスと呼ばれる口頭練習の開発が進められた。

#### D. TPR (Total Physical Response)

- ・ 理解を優先し、聞いたことに全身で反応する方法を用いる。母語習得の方法をモデル化したもの。
- ・ 話す準備ができるまで学習者は話すことを強制されない。

#### F コミュニカティブ・アプローチ

- ・ コミュニケーション能力の育成を目的とする教授法で、言語の型や規則の知識だけでなく、使い方も含めた知識と運用能力の習得をめざす。
- ・ 学習者中心、学習内容重視といわれている。

より深く学びたい人のために

三牧陽子 (1995) 「日本語教師トレーニングマニュアル⑤日本語教授法を理解する本実践編解説と演習」

!!! 考えよう!!! +  $\alpha$  Practice

「直接法」について考えてみましょう。「寒い」「冷たい」「暑い・熱い」「温かい」という4つ（正確には5つ）の語彙を教えたいとき、媒介語を使わないで理解させようとするとしたらどのように教えたらいいでしょうか。（ヒント! : 場面を設定して説明してみよう・やさしい日本語を使おう・違いは何かよく考えよう・絵を使ってみよう）